



# 新着案内

早稲田大阪学園・図書館

http://www.waseda-setsuryo.ed.jp

No.98 2019/5/24



☆スピードパス発行中!  
個人のバーコード付き  
だから、スピード貸出が可能!  
希望者は司書に申し出てね☆

## 『京大的アホがなぜ必要か』酒井敏/集英社新書

「変人講座」が大反響を呼んだ「もっとも京大らしい」京大教授が、カオス理論やスケールフリーネットワークといった最先端の理論から導き出した驚きの哲学と「アホ」の存在意義、育て方を披露する。

## 『アルゴリズム図鑑』石田保輝/翔泳社

### 『アルゴリズムを、はじめよう』伊藤静香/インプレスジャパン

『プログラミングを、はじめよう』立山秀利/インプレスジャパン  
難解なプログラミングを、難しいコードの説明でなく、ブロック図を並べるといふプログラミングの疑似体験を通して視覚的に理解し、実際にPythonを使って具体的な活用も体験し、理解を深める。

## 『東大読書』西岡亮誠/東洋経済新報社

もともと「できる子」だった東大生たちには「当たり前」の読み方に、偏差値35で落ちこぼれだった僕が、2年浪人してたどり着いた。誰よりも、この読書術の「やり方」と「スゴさ」がわかる。

## 『本をつくる』鳥海修/河出書房新社

谷川俊太郎詩集ができるまでの軌跡―。一篇の詩のために書体設計士が文字をつくり、詩人が言葉を紡ぎ、それを組版工が組んで活版印刷し、製本職人が手作業で仕上げる。造本過程の記録。

## 『起源図鑑』グレアム・ロートン/ディスカヴァー・トゥエンティワン

### 『世界のエリートが学んでいる哲学・宗教の授業』佐藤優/PHP研究所

哲学と宗教は、人間が生きていく上で不可欠な基本原理。日本で活躍するエリートには哲学と宗教に関する知識と教養が欠如している。筑波大学の連続講義を紙上再現。

## 『江戸の不動産』安藤優一郎/文藝春秋

江戸を大都市に押しあげた原動力は、活発な不動産取引だった。大名は郊外の土地を買い漁り、中心部の土地を等価交換で入手。町人、農民も土地取引に参入し、貸家経営などにいそしんだ。

## 『15歳のコーヒー屋さん』岩野響/KADOKAWA

「好きなことを仕事にしたら障害じゃなくなった!」10歳でアスペルガー一症候群と診断。中学校に通えなくなったのをきっかけに、あえて進学しない道を選んだ15歳の「生きる道探し」とは?

## 『探検家の事情』角幡唯介/文藝春秋

不惑をすぎても妻とケンカ、自分は原始人のニオイがすると浮かれ、忘れ物をしすぎて北極で死にそうに!非日常を追求した『極夜行』の探検家・角幡唯介が日常を明かすエッセイ。

## 『京都思想道選』小倉紀蔵/筑摩書房

### 『ちずたび京都を走る自転車BOOKロングライド版』環境市民京都自転車BOOK制作プロジェクトチーム編/西日本出版社

サイクリストが走って調べた詳細地図が嬉しい、自転車ガイドの決定版。とっておきのおすすめスポット132か所を掲載。初心者から鉄人まで、走って楽しい要素がぜんぶ詰まっています。

## 『アイルランドを知るための70章』海老島均編/明石書店

### 『社会の真実の見つけかた』堤未果/岩波書店

メディアが流す情報を鵜呑みにしては、社会の真実は見えない。恐怖心と競争を煽ってきたメディアの実態を体験し、取材してきた著者が「情報を読み解く力」を身につける大切さを解説。

## 『父が娘に語る美しく、深く、壮大で、とんでもなくわかりやすい経済の話』ヤニス・パルファキス/ダイヤモンド社

元財務大臣の父が、娘に向けて、シンプルで心に響く言葉で本質を語る、究極の「経済×文明論」!いまの「世界」と「経済」の本質を捉えきった、現代を生きるすべての人必読の書!

## 『高校生からのリーダーシップ入門』日向野幹也/筑摩書房

新しいリーダーシップを知り、学ぼう。誰もが持つべきあるいは持ちうるスキルだ。問題解決に力を発揮するのみならず学びや生活の場も豊かにする。

## 『性の多様性ってなんだろ?』渡辺大輔/平凡社

あなたの「性」はなんですか?「LGBTQ+」だけじゃない、「ふつう」の性のあり方も通して、「私」について考えよう。多様な性のあり方から、自分と社会のつながりが見えてくる!

## 『介護再編』武内和久/ディスカヴァー・トゥエンティワン

2025年、介護施設は外国人介護士ばかりになる?虐待されない安全な介護施設はどう探す?テクノロジーによって介護現場は変わるのか?元厚生労働省官僚と介護事業者の革命児が提言!

## 『なぜ人と人は支え合うのか』渡辺一史/筑摩書房

障害者について考えることは、健常者について考えることである。2016年に相模原市で起きた障害者殺傷事件などを通して、人と社会、人と人のあり方を根底から見つめ直す。

## 『ブрак部活動』内田良/東洋館出版社

部活動。その意義は繰り返し強調されてきた。しかし、その裏に大きな矛盾や教員の負担が覆い隠されていた。数年間のエビデンス分析から部活動に潜む矛盾と社会構造を鋭く示す。

## 『教育激変』池上彰/中央公論新社

2020年度「新学習指導要領」「大学入学共通テスト」が導入される。なぜいま教育改革なのか?「主体的・対話的で深い学び」とは?教育の問題点と教育改革の意味を解き明かす。

## 『ヤノミ』『ノモレ』国分拓/新潮社

広大なアマゾンで、今なお原初の暮らしを営むヤノミ族。目が眩むほどの蝶が群れ、毒蛇が潜み、夜は闇に包まれる森で著者が見たものは…。独特の死生観。大宅壮一ノンフィクション賞受賞作。

## 『山怪』②・③巻 田中康弘/山と溪谷社

日本の貴重で重要な「語り遺産」。現代版遠野物語。山人たちの貴重な体験。東北から中国・四国地方を取材して集めた興味深い体験談を聞き書きした記録集。

## 『1秒って誰が決めるの?』安田正美/筑摩書房

### 『NHKスペシャル人類誕生』馬場悠男 監修/学研プラス

20種あまりの人類が誕生と絶滅を繰り返した人類進化史。必ずしも強者ではなかった私たちの祖先は、なぜ生き残れたか?急速に世界に拡散した理由には「好奇心」が鍵を握っていたのだ。

## 『終わっている臓器』坂井建雄 監修/徳間書店

「ヒト」には、進化の過程で不必要となったパーツが多くあることはあまり知られていない。その理由を解き明かすと「人体不思議模様」が見えてくる―。男性に子宮跡があるらしいですよ!

## 『免疫革命がんが消える日』日本経済新聞社編

がん治療の「最終兵器」免疫薬「オプジーボ」。どういう人に、どれくらい効果があるのか。しくみ・副作用・薬価・類似薬は?日経の専門記者がもっとも知りたい疑問に答える。

## 『誰がアパレルを殺すのか』杉原淳一/日経BP社

### 『ものがたりのあるものづくり』山田敏夫/日経BP社

店舗なしセールなし生産工場を公開価格は工場に決めてもらう―アパレル業界のタブーを破って日本のものづくりを変えた革命児が仲間を巻き込んで古い常識を飛び越えた。

## 『アパレル・サバイバル』齊藤孝浩/日本経済新聞出版社

消費者の「クローゼット」を支配せよ!アマゾン「プライム・ワードローブ」、ZOZO「おまかせ定期便」、メルカリが変えた中古の意味…10年後の勝者が見通す壮大な戦略!

## 『サバが好き!』池田陽子/山と溪谷社

究極の定番サバ料理から、全国のブランドサバ図鑑、絶品サバグルメを楽しめる“街”、漁業や文化まで。サバを愛する全ての人々に捧げる「サバ読本」!

## 『日本発「ロボットAI農業」の凄未来』窪田新之助/講談社

迫る完全ロボット化、作業時間は9割減、輸出額1兆円も目前!ハイテク化した農業は日本の得意分野に!国土全体を豊かにして自動車産業を超える。農業の将来を展望。

## 『身近な野菜の奇妙な話』森昭彦/サイエンスアイ新書

食べ物としての野菜の祖先は世界各地の雑草、野草のたぐい。その恐ろしい生命力、美味なる実や葉、全容未解明の健康効果を持つそんな野菜の摩訶不思議に迫る。

## 『富士箱根ゲストハウスの外国人宿泊客はなぜ1ピーターになるのか?』高橋正美/あさ出版

訪日する外国人旅行者4000万人をどう迎えるか。「トリップアドバイザー」でエクセレンス認証を5年連続獲得した富士箱根ゲストハウスの「もてなし」に学ぶ。

## 『外国人が熱狂するクールな田舎の作り方』山田拓/新潮新書

岐阜県飛騨に、世界各国から毎年数千人の旅行者を集める人気ツアーがある。日本の田舎が「宝の山」に?地域の課題にインバウンド・ツーリズムで解決を図った戦略を公開。

